

平和 広島

NHKスペシャル 原爆が奪った“未来” ～中学生8千人・生と死の記録～

放送日：2022年8月6日 放送時間：50分

対象校種 中学校・高校

対象教科 社会・日本史・総合・道徳



この番組の良さ



● 広島原爆に関する新しい事実を知る

1945年8月6日、広島に原爆が投下されました。中でも犠牲者がとりわけ多かったのは、12歳から13歳の中学1年生の生徒でした。それはなぜなのか？NHKでは、遺族や学校に残されていた死没者名簿や被災者名簿を独自に入手し、生徒たちはどこで、どのように亡くなったかを可視化しました。それにより、原爆が投下された当日の朝、広島中心部に39校、約8千人の中学1年生が、木造家屋を取り壊す作業をしていたことが判明します。被災した生徒、関係者の証言から、原爆投下時の状況を、新しい事実として、見る者に訴えます。

● 原爆と戦争の記憶を後生に引き継ぐ

原爆を経験した人たちの生々しい証言が、戦争の恐ろしさを物語ります。被災者の中には、放射能汚染により亡くなった人々も多くいました。放射性物質が残る地域を、その危険性を知らないまま、親たちが我が子を探し続けたことも一因です。そして、被災地を目の当たりにした人たちが、今もなお、トラウマに苦しんでいます。

戦争が絶えない現代社会において、原爆の経験を後世に引き継ぎ、このような惨禍を二度と起こさないという思いを、番組視聴からもつことができます。

番組活用のポイント

● なぜ、中学1年生が犠牲になったか、その歴史的背景を知る。

なぜ、約6千人もの中学1年生が犠牲にならなければならなかったのか。番組視聴からは、当時差し迫った本土決戦に向けて、軍が主導して中学1年生を、「建物疎開」（密集している木造家屋を強制的に取り壊し、火災が広がるのを防ぐ作業）に動員した事実が明らかになります。NHKでは、この動員の内幕の資料を発見し、「出動会議」のことが書かれた手記を番組内で公表しました。手記からは、中学2年生までがすでに他で動員されており、人手不足のため中学1年生が動員されたことが判明しました。空襲警報が鳴り響く中、屋外での作業をすることに反対した学校関係者に対して、陸軍の責任者が詰め寄ります。軍刀で床を叩き、「作戦遂行上の学徒の出動は必至である」と強調し、議長に決断をせまり、この動員が決定したことが明らかになりました。軍がまだわずか12～13歳の子どもを戦争に関わる作業に従事させた事実から、同年代の生徒として、この歴史的な事実を重く受けとめながら、その背景を学ぶことができます。

中学校、高校の歴史において「国家総動員法」「学徒動員」「戦時下の人々の生活」「原爆投下と終戦」の学習での番組活用が考えられます。

● 戦争のない平和な社会に向けて、何ができるかを考える。

番組内では、原爆で犠牲になった人やその関係者の日記、証言を視聴することができます。当時中学1年生になった感激の思いを記した生徒の日記。妹が生きていたときの容姿を、残された衣服から語る姉の話。原爆が投下された日に、「学校を休む」と話した息子を、叱咤激励しながら学校に行かせた母が後悔の念を話していたこと。その日病気のため、学校にいて命を取り留めた話。それらの証言を教材とし、平和な日常生活を一時奪う戦争の恐ろしさについて意見交換し、戦争のない平和な社会に向けて、今私たちは何をすべきかを考えさせることができます。また、多くの犠牲や苦難を乗り越えて、現代日本が成り立っていることを認識し、若くして亡くなった生徒たちの無念さに思いを馳せながら、私たちはこれから、どのように生きていくべきかを考えさせることが効果的です。道徳科の内容項目「生命の尊さ」、「よりよく生きる喜び」などでの活用や広島、長崎への修学旅行の際の事前学習（総合的な学習に時間）において番組の活用が考えられます。



執筆者
秋田県藤里町立義務教育学校藤里学園
後期課程教頭 **嵯峨静人**

中学1年生、 6千人の犠牲者の背景にある歴史的事象とは

対象校種 中学校 対象教科 社会科(歴史)

[授業時間 50分×2] まるごと視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>広島への原爆投下により、中学1年生の死者数が突出して多かった。</p> <pre> graph TD A[広島への原爆投下により、中学1年生の死者数が突出して多かった。] --> B1(なぜ、中学1年生が多いのか) A --> B2(他の学年はどうだったのか) B1 --> C[なぜ、中学1年生の死者が多かったのだろうか?] B2 --> C C --> D1(中学1年生の集会があったから) C --> D2(軍の仕事をしていただけ) D1 --> E(爆心地の近くにいたのだろう) D2 --> E E --> F[番組まるごと視聴50分] F --> G1[① 学徒動員] F --> G2[② 戦争の恐ろしさ] F --> G3[③ 当時の人々の思い] G1 --> H1(国家総動員法、学徒動員などが背景にあったのだな) G2 --> H2(想像を超えた恐ろしさだ。二度と悲劇を起こしてはならない) G3 --> H3(一人一人にそれぞれの思いが、今尚鮮明に残っている) H1 --> I[現在も戦争が行われていることを踏まえ、これからの世界の平和について考える] H2 --> I H3 --> I I --> J(ウクライナや中東で戦争が今も行われている。戦争のない世界にするため、私たちは世界中の人と協調し、争いをなくしていかななくてはならない。) J --> K[爆心地で多くの中学1年生が亡くなった背景に、国家総動員法により国民のために働く中学生の動員があったから] K --> L(他の戦争での被害や、中学生などが受けた被害についても調べてみたい。) </pre>	<p>・広島に原爆が落とされた日、中学1年生の死者が突出して多かった事実(原爆投下後1ヶ月で約6千人)を映像(3:34)から伝え、疑問や意見を聞く。</p> <p>・生徒の疑問を基に学習課題を設定する。</p> <p>・生徒の求めに応じて番組を全視聴するが、視聴する点を3つ指示する。</p> <p>① 中学1年生が多く亡くなったことと関係する歴史的事象</p> <p>② 戦争の恐ろしさ</p> <p>③ 生存者、またはその関係者の思い</p> <p>【思考・判断・表現】 なぜ、中学1年生の死者が多かったのか、番組視聴から考察し、発表できる。また、この歴史的事象を踏まえ、世界平和を構築するためにできることを、自分の言葉でまとめることができる。</p>